

朝風

第2号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 広報委員会
印刷 (株)宮城文化協会



SENDAI

(平成6年度)

団員数	251	団名	1
指導者	85	45	9
	11	3	

これからのリーダー

本部長 菅原 壽



「リーダーとは、集団の行動の方向や様式を現実に規定し、他の成員に対して、決定的な力を及ぼすところの成員をいう。」という定義が、教育心理学事典の中に見られます。

複数以上の人数が集まって活動する時に、まとめ、あるいは推進していく役割を持つ人がリーダーなのです。

スポーツ少年団においては、このような定義からすれば、指導者もリーダーといえるのですが、構成員の年齢の幅広いことを考え、指導者と区別して団員の中からリーダーを求めると考え方に立っています。

それはリーダーに将来の指導者として期待をかけているためです。

団員が、能力を十分に発揮

し、自主的に、積極的な活動をしていこうということから、団員でありながら団員の世話役ができるリーダーの養成を考えているのです。

単位団の中には、日常の活動において活発に団員の世話をし、活動の大きな推進力となる団員がいるはずで、このような団員に、積極的な活動ができるよう自信をもたせるためにも、ジュニア・シニアという制度を生かして欲しいものです。

平成七年度からのスポーツ少年団リーダー制度が次のように改正される。

◎シニア・リーダースクール参加資格

これまでは、ジュニア・リーダーの有資格者だけであったが、

それに準ずる者として単位制が導入され、その単位取得は一〇単位以上が必要である。

一、全国スポーツ少年大会参加 六単位
二、ブロックスポーツ少年大会参加 五単位

三、スポーツ少年大会(全国・ブロック・県) 競技別交流大会(全国・ブロック・県)

ジュニア・リーダースクールへの運営係員としての参加が取得できる。

シニアリーダーの認定をうけた者が、引き続き登録を行っている限り有効であり、二〇歳に達した時点で「日本スポーツ少年団認定員」へ資格移行することになります。ただし、スポーツ少年団に登録をしない時、または、スポーツ少年団のリーダーとしてふさわしくない行為があったときは、その資格を失うこととなります。

団員は、多くの仲間とリーダーとして活動されるよう期待

待するとともに、仙台市スポーツ少年団は、平成七年度から独自のドイツスポーツユージュエントとの交流を実施することになりました。

新米部長デス!!

野球部会長 佐藤 伸光

今振りかえって想えば、平成二年、二市二町が合併、政令指定都市移行、そして新仙台市スポーツ少年団の発足、と大変な時期であった事を憶えているし、そのまとめ役の苦労は並大抵ではなかったと聞いてました。まして新組織の野球部会は六〇を越す登録団があり、混乱も予想されたが、幸いにも初代部会長の経験と実績に裏付けされた指導力によって無事に今日を迎える事が出来、私がバトンを引き継いでも心配する事は何一つない部会に成長したのは、各団の指導者、母集団が一丸となって部会運営に協力された事によるものと共に、前部会長の力量のお陰と感謝を申し上げます。

この度、横山前部会長が県スポ少の事務局長となり、私が後任部会長としてその任を引き継ぐ事になりました。がしかし前述の通り「新米」でありますので、何とか野球部の皆さんのお力をお借りしながら、前任者の方針を尊重しながら踏襲して参りたいと思っております。

さて、我ら野球部会にも学校週休二日二回導入の対応、指導者母集団の育成強化、帯同審判制の移行、団員の加入促進強化等々、各部会にも共通の問題点があるのも現実であります。

これらの問題点を解決し前進する為にも、野球部会の総力をあげて対処し、地域・社会に根差した青少年スポーツとしてのスポーツ少年団の地位の確立、そして、団員、保護者、指導者が連携と理解し合っの真の青少年健全育成が実践出来まます様努力して参りたいと思っております。

変わらぬ御支援を野球部会に賜ります様、よろしくお願

スキー教室に行って

南光台東バスケット

六年生 川又朋子

スキー教室の前のずーっと前からスキー教室を楽しみにしていました。昨年もいきました。そのときに私はスキーぐつをはいて歩くこともできませんでした。でもボーゲンまで練習してできるようになりました。たったの三泊四日で。だからきつと今度もうまくなって、友達といっしょにスキーに行くぞー、と気合をいれていました。

まってまってやっと当日になりました。集合場所の「レジャーセンター」に行き、「開講式」をしてバスに乗って出発。わくわくどきどき、ちょっと不安ながらも、みんなでおしゃべりをしているうちにもう山形蔵王に到着。スキー合わせをして、昼食を食べて実技に入りました。なんと初めからリフトに乗りました。昨年リフトに乗った時には失敗しなかったけれど降りるときにころんでしまいました。今年はこちらは降り

た。初めにみんなどれくらいできるようになったか発表しました。私たちは技じゅつ的には中ぐらいだったけど女子の中で一番上のクラスでした。失敗しないようにと願いながら自分の番にきました。すべって行きました。なんかすごく自分でへただなあとも思いましたが、「まあしかたない、きにしない」と心で思っていました。後から考えると自分になぐさめをいつているようにもかんじました。次にスキーぐつをはいて上に走って行きみかんを口にくわえて持つてくるゲームでした。チームの

中でうちのチームが一位になりました。口を大きくあけてみかんをくわえたのがけっこうぶさまでした。これでもうスキー教室は終わり、長いよう短い三泊四日のスキー教室でした。私はこれでシュテムターンはできるようになりました。今度一しょに友達とスキーへ行きたいです。ここでまなんだことは人のことを考えることです。ねるときに私たちだけ遊んでいてねむたい人もいるのに。今度人ととまりに行くときは人のことを考えてきをつけたいと思いました。

スキー教室 冬山の集いに参加して 五年 守屋直樹

同じへやの他校の人ともいっまでも仲良くしていくつもりです。そして大きくなったら、ぼくもスキーの先生みたくうまくすべれるようになって、そしてみんなにおしえてやりたいと思いました。

スキーは、ぼくにとって本当の初心者です。だから知らない先生や友達と、いっしょに練習して、うまくすべれるようになるかなあ、と不安感でいっぱいでした。しかし、バスに乗ると、他の学校の同じはんの六年生が、やさしく話しかけてくれたので、すぐ仲良くなりました。スキー場では、先生方からブルークフアールンや、ブルークボーゲンを教えていただき、思っていたよりも早く平地ですべれるようになり、うれしがいっぱい夜もなかなかねつかれませんでした。二日めは、次第になれてき



自分なりの目的

東仙台剣道 堀越 貴 絵

今回は今までとは違った面からの参加ということで期待以上の不安でいっぱいでした。一度だけの打ち合わせで初心者の私たちがリーダーとして進めることができるのだろうか、焦りながらの活動開始でした。

スポーツ活動などで団員の一人一人に笑みがみえるという私たちも『ホッ』と一息つきました。とにかく自分という一人に気づいてもらい仲間良さを認めてあげられるような団員であってほしい、という初心者の私でも心にありました。年齢も近いということとで、「姉ちゃん。。」とか「おい、そっ。」などとアゴを使って指示をされとても腹立たしく思い自分の一、二年前のことを思い出してみると今年と同様に、アゴを使ったりはしなかったものの反省することが多かったように感じます。

しかし、一つ一つの活動が無事終えるにつれて同じ班の団員の良さが見えてきてい

の間にか班員の名前を私自身が覚えて、「リーダー、リーダー」と呼ばれるようになり、その時は正直言ってすごく嬉しく思い自分の立場を見直すことができました。

全体を通して一番強く感じたことは、生活のしおりの最後「リーダーシップとは」といういくつかの項目がありボスとリーダーの違いが明確に示してありました。私自身以前の研修で同じことを思いました。同じこととは、ボスにはなりたくない、ということとです。ならないためにはどのような行動をとったら良いのか今後の課題だと思います。

団員一人一人に、「仲間づくりとはどうしたらいいのか」と聞いたとき全員が「僕たちがいいプレーをし、手本を見せてやる。」と答えていました。一人一人の考える仮定が異なっているにもかかわらず、同じだと思えます。

この研修を通しそれぞれが自分なりの仮定をつくり頑張っ

ていくべきだと感じます。私も団員や先生方、他のリーダーからの良い仮定を参考にしながらの活動をこなしていきたいと思います。

ジュニアリーダーとして

柴田 美和

私は三月二十五・二十六日のジュニアリーダースクールに参加し、いろいろな事を学びました。

研修へ参加する前まで、私は（自分は本当に責任をもつて行動したりできるか）とか、いろいろ考えてしまいました。そして研修の日が来ました。楽しみだけでなく不安もありました。

私が一番良かったなあと思っ

たが、同じ班の子達と会って見て緊張がほぐれました。話が変わって……

んと言ってくれたりしたこと、私はリーダーをやっている一番良かった事ではないかと思えます。

悪かった事は、ほとんど私の事だと思えます。それは、生まれて初めてリーダーとして合宿へ参加したのであまり自分で考えないで友達のリ

ダーにばかり頼ってしまい、自分の意志で行動がとれなかったことです。

楽しかったことや大変だった事……いろいろありますがこのジュニアリーダースクールのリーダーとして、一つが良い経験となりました。本当にこの合宿に来て良かったと思っています。



リーダー達もミーティング



みんなで食べれば2倍おいしい

仙台市スポーツ少年団30周年記念事業

ドイツシュバンドルフとの交流



団 長

氏名 ワルツ ロータル (52才男)

職業 体育教師、町会議員、シュヴァンドルフ市青少年スポーツ団委員、日本、アメリカ青少年国際交流委員

趣味 陸上競技、カヌー、重量挙げ、スキー、音楽、読書

日本訪問への希望

日本とドイツとの友好関係をさらに深め、旧友を温め、さらに多くの人々と友好関係を作りたい。

国際交流経歴

1981年青少年団の引率で訪日、1992、83、85、86、89、91、92、94各年日本青少年団、訪独団をドイツで受入れ、1990年ドイツ、スポーツ青少年指導者団の一員として訪日、1993年青少年団を率いて訪日



世話役

氏名 ワルツ ミハエル (23才男)

職業 学生

趣味 読書、物書き、テニス、映画鑑賞、陸上競技

国際都市仙台市で活動するスポーツ少年団の指導者、団員が本年で三十周年を迎えました。昭和三十九年五月わずか二十団で発足した仙台市スポーツ少年団も、現在では二五一団を数えるまでに成長して参りました。がこの間多くの諸先輩方の御指導により活発な活動と共に組織の拡大を果し、平成二年には二市二町の合併を機にスポーツ少年団も大同団結した事は周知の事と存じます。そして今年で三十周年、この記念すべき年に、かねてより全国的に交流のあったドイツスポーツユースゲントを、仙台市スポーツ少年団が独自にお招きする事と致しました。

もとより日独両国のスポーツの体系は違っている所ですが、我々スポーツ少年団の理念、目的に最も近い距離にあり、従前より交流を深めている諸先輩達の体験談を聞いても大変参考になるとの感触を得ていることから実施に踏み切った経緯にあります。今年度はドイツの皆さんを八月二日(八月十三日までの間、ホームステイを中心に、学校、スポーツ団体、郷土工芸、観光地訪問等の日程を終えて無事帰国されました。この間多く



氏名 シースル アレクサンダー
(20才男)
職業 CNCミーリング工員
趣味 スキー、水泳



氏名 メッセル エマヌエル
(20才男)
職業 工業技術者(見習い中)
趣味 プラモデル、柔道



氏名 ポールマン トーマス
(19才男)
職業 生徒
趣味 スノーボード、自転車、
水泳、音楽、コンピュー
ター、ロックライミング



氏名 ビショフ ロルフ
(15才男)
職業 生徒
趣味 水泳、サーフィン、自転
車、サッカー、プラモデ
ル



氏名 オホマン アレクサンダー
(19才男)
職業 生徒
趣味 読書、ハイキング、音楽、
ピアノ演奏、コンピュー
ター操作、自転車、スキー



氏名 ミュルナー カトリン
(16才女)
職業 生徒
趣味 スポーツ、英話、仏語



氏名 エリッケ ペーテル
(24才男)
職業 学生
趣味 音楽、オルガン演奏、合
唱、水泳、テニス



氏名 コップル レベッカ
(18才女)
職業 生徒
趣味 水泳、自転車、空手



氏名 エリッケ クリスティアン
(15才男)
職業 生徒
趣味 チェス、音楽、コンピュー
ター操作



氏名 ヴェニシュ クリステアネ
(19才女)
職業 生徒
趣味 音楽、ダンス、水泳、読
書、卓球、旅行



氏名 ツィンバウアー ハネス
(17才男)
職業 生徒
趣味 エレクトロ技術、エレクト
ロニクス、舞台劇を演
じる。



氏名 ヴェニシュ ベアーテ
(16才女)
職業 生徒
趣味 読書、乗馬、水泳、音楽、
ダンス



の皆さんにお世話になりました事に対し厚く御礼申し上げますと共に、来る平成八年九月八日(二十三日迄)、ドイツシュバンドルフを中心に訪問する事が決まりましたので多くの指導者の皆さんに参加を頂きたいと思えます。仙台市スポーツ少年団も三十年を境に大きく飛躍しようではありませんか!!

中田スポ少に

ジュニア・エース誕生!!

中田スポ少「複合」(サッカー、野球、バレー、卓球)は今年三十周年を迎える長い伝統の少年団です。でも、毎年六年生が卒業するとイコール卒団という型が定着し、団員資格は二十歳までと言われるなかで何時も社会体育と学校体育の狭間で悩んで来ました。

明治の近代化政策の一つに学校教育があり、日本人がスポーツに触れる機会は学童・学生達の学校体育だけでした。庶民がやっと余暇にあり付けたのが、週四十八時間労働制が定着した敗戦後です。学校体育の我国のスポーツ向上に果たした力は大きく深いと今更感心いたします。

さて中田スポ少は、日・独交流団員七名も派遣し、体育先進国では少年から青年・成人まで一貫した指導に徹したクラブが主流で、学校体育中心の日本と、考え方、体制が違い、スポーツを楽しんでいると帰国した参加者みんなが報告しています。又ブラジル、ドイツのサッカー研修にも少

年団OBの指導者が二度・三度参加し世界のスポーツ界はクラブがリードしていると、つぶさに語ってくれています。当団は中学の部活のサッカー部に、十数年前より団OBの指導者を派遣し、部長や校長先生が好意的に受入れてくれた時や、反対に排除されるなど様々な経験を重ねて来ました。今回中学側の好意で部活と全く関係なく、一年生のみですがジュニアユース設立を了認してもらいました。当団のOBのみでつくっている中団クラブ(東北リーグ所属)と少年団の架橋ジュニアユースが出来、ゆくゆくはユースの設立も願い、幼年より成人までの一貫したスポーツクラブが整い、専用グラウンドの獲得とクラブハウス建設と云うとんでもないデカイ夢を見ながらその第一歩を歩み始めました。今回の設立は参加した二十名の団員、八名の指導陣とご父母の熱意が突っ込んだのですが、今後の様々の困難と新しい事に挑戦する勇気に拍手を送ります。ユース、社

会体育が一般化するまで市内・県内でも不自由さ、不調和が続くと予想されますが、それらに負けず頑張り多くの仲間が後に続くことを信じ地域スポーツの振興の一助になれる

報告

柔道部会

早坂征市

近年開催される柔道大会等を見ていて気づくことは、女子選手が僅かではあるが増えている感があり喜ばしいことだと思えます。青少年の健全育成と柔道発展を期して開催される各種大会が関係機関の皆様のご支援の賜物であり、関係者の一人として衷心より感謝申し上げる次第です。

では次のような趣旨で①目的意識をもってひとつのことをやり通したという満足感を与える。

七月の学年別柔道大会、十一月の柔道交流大会、十二月の東北ブロック大会等、市スポーツ少年団本部のご支援を受けながら本部活動の目的達成のため努力し、それなりの成果をあげて参りましたが、最近思うことは、小・中・高を通して柔道を続けさせることが段々困難になりつつあることも否定できないことであるります。

②ややもすると無気力・無感動的な傾向のある現代っ子達に強い精神力と楽しみを伴った満足感を与える。

当単位柔道スポーツ少年団

③正しい転倒の仕方と機敏性を身につけさせる。

重要さを気づかせることは、すなわち柔道は大変楽しいもので礼儀も身につけ、団体行動をすることで他を思いやる心などの人間形成に欠かせない、つまり「精力善用」「自他共栄」の精神を毎回の稽古を通して指導しております。

④強じんな体力をつけ、肥満体の子どもを少なくする。水泳やレクリエーションをとりまぜながら柔道の持つ意義と重要性を気づかせることは、すなわち柔道は大変楽しいもので礼儀も身につけ、団体行動をすることで他を思いやる心などの人間形成に欠かせない、つまり「精力善用」「自他共栄」の精神を毎回の稽古を通して指導しております。

ようこそ白老

白老町スポーツ少年団との交流会も九回目を迎え、今回は野球、バスケット、水泳の三種目が広瀬野球場、グラウンド、片平小学校、YMCAプールなどで開催されました。白老からの六団一三九名(団員九七名、指導者・母集団四二名)を、仙台ではYMCAを含めた一〇団が迎え、八月五、六、七日の二泊三日、団員たちはホームステイ、交流試合、七夕見学とお互いの交流を深め、楽しい充実したプログラムに参加しました。ちょうどドイツ・シュバンドルフスポーツ少年団が来仙しており、一部の活動は合同で行われ、白老・仙台・シュバンドルフと三つの地域の団員が言葉や年齢の違いを越えて一緒にバスケットボールのゲームを楽しみました。来年は仙台が、白老をおとずれることになっていきます。

編集後記

予定よりだいぶ遅れてしまいましたが、朝風の第二号をお届けできることになりました。今年度は仙台市スポーツ少年団の三〇周年記念式典を来年五月に控え、通常の活動と、ドイツとの交流の記念事業などが重なり、本部は気ぜわしい思いをしましたが、活動に参加した団員の満足そうな笑顔を見て、ぜひ多くの団が本主催行事にも団員やリーダーを送ってほしいなと思えます。佐藤田鶴子